



## ソーシャル企業認証制度取得

お取引いただいております金融機関からソーシャル企業認証制度を紹介いただき弊社も認証取得に向け挑戦いたしました。

弊社の事業内容から、環境に配慮したバイオマス素材の商品や紙製品の普及など、脱プラスチックを目指してCo2の削減へ取り組むことを軸として、申請させていただきました。

申請にあたり、微力ではありますが、再生可能な循環型社会の構築に貢献できる立ち位置にあり、「なんでも紙で作る会社」を目指していることを再認識いたしました。

その甲斐あってかソーシャル企業認証(S認証)を頂き、大変光栄に思っております。



## ソーシャル企業認証制度 S認証とは

ソーシャル企業認証制度(通称、S認証)は、ESG経営や社会課題の解決を目指す企業に対し、経営方針や事業内容、社会的インパクトなどを基準に、評価・認証を行う制度。

企業活動の社会的インパクトをみえる化し、社会課題に取り組む地域企業の成長を支えることで、地域社会におけるソーシャルマインドの醸成及び持続可能な地域社会の実現を目指す。

また、認証制度を軸とした企業・消費者のエコシステムを構築し、地域経済の持続的成長につなげることを目指す。

### ※※ESG経営とは

ESGはEnvironment(環境)・Social(社会)・Governance(企業統治)の頭文字をとった略語。ESG経営とは、この3つの要素に配慮した経営により企業の持続的な成長を目指すもので、将来的なSDGsへの貢献にもつながる。

## 糊とセロハンテープ



弊社で発行する請求書や納品書の封をするのに、今まではセロハンテープを使用しておりました。ただ封をする手間の効率を向上させるため、テープのりを一度試してみようと思いついて真っ最中です。

**そこで!** セロハンテープと糊とでは、どちらが環境に良いかを少し調べてみました。

環境というワードでセロハンテープを調べてみると、そもそも「セロハン」とは再生可能な植物資源である

樹木を原料とした、天然素材のフィルムとのこと。

{ずっと石油で作られているビニールなどと同じと思っておりました…}

他のOPPテープなどと違い、環境にやさしい循環型のエコロジー製品だそうです。

ただ何事にも長所と短所があり、OPPテープと比べると耐水性が低く、水が付着するとはがれやすい、またOPPテープよりも高価なんだそうです。

そんな環境に良いセロハンテープですが、ビジネスマナーから見ると少し悪者に。

履歴書や願書をテープで封するのは、見た目が悪く相手に失礼にあたるそうです。

そう言われると今までテープ貼りしてきた弊社はマナーが悪いのか、と下向きに考えて凹みますが履歴書ではなくあくまで請求書・納品書なのでお許しください。



一方糊については、紙面がなくなりかけていますのでまたの期に。

# プラスチックは、えらんで、減らして、リサイクル

2022年4月1日に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されました。この法律が施行された背景の一つが、海のプラスチック汚染問題です。2050年には、海のプラスチック量が魚を超えるのではとされています。多様な物品に使用されているプラスチックで、製品の設計から廃棄物の処理までに関わるあらゆる主体における資源循環の取り組みを促進させるための措置が講じられます。

## ①設計・製造段階

プラ製品を環境配慮設計に転換、それを国が認定し、消費者が選択できる社会にする。

## ②販売・提供段階

コンビニのスプーンやフォーク等、使い捨てプラスチックの使用を合理化し、消費者のライフスタイル変革を加速させる。

## ③排出・回収・リサイクル段階

あらゆるプラを効率的に回収・リサイクルする。

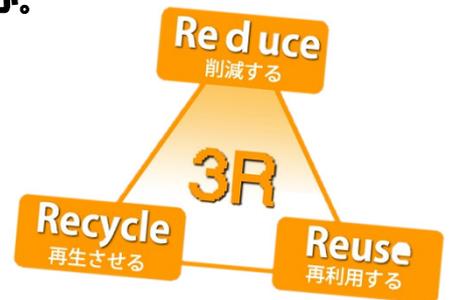
以上3段階での「3R+Renewable」により循環型経済への移行を目指します。今回の施工を機に身の回りのプラスチックについて考えてみませんか。

# 18のR

日本では、環境への取り組みで有名な3R。

最近では、「リフューズ(断る)」「リペア(直す)」を加えた5Rの採り入れが進んでいます。しかし、国際的にはRの数が18まで増えているのはご存知でしょうか。

- ① Refuse (断る)
- ② Reduce (減らす)
- ③ Reuse (再利用する)
- ④ Repair (修理する)
- ⑤ Recycle (再資源化する)
- ⑥ Reform (改良する) : 着なくなった洋服などを作り直す。
- ⑦ Rebuy (再購入する) : リサイクルされたものやリユース品を積極的に購入する。
- ⑧ Return・Returnable (戻す) : 空き瓶や、使わなくなったスマホなどを購入先に返す。
- ⑨ Refine (分別する) : ごみは分別して捨てる。
- ⑩ Regeneration (再生品) : 再生品の使用を心がける(再生紙など)。
- ⑪ Rethink (再考する) : 自分にとって本当に必要か考える。
- ⑫ Rental (借りる) : カーシェアリングなど、必要なものを所有せずに借りる。
- ⑬ Right Disposal (正しく捨てる) : ルールに合わせてごみを捨てる。
- ⑭ Remix (再編集) : 製品を作るときに再利用できるものと組み合わせる。
- ⑮ Reconvert to Energy (エネルギーに再変換する) : ごみ処理の熱をエネルギーにする。
- ⑯ Recreate (楽しむ) : 自然を守りながら楽しむ。
- ⑰ React (響き合う) : 自然のなかで楽しめるよう行動する。
- ⑱ Restore (復元する) : 植樹やごみ拾いなど壊れた自然を復元させる活動をする。



全てのRに取り組むことは難しいかもしれませんが、無理せず自分の生活に合わせて1つでも多くのRを取り入れていけたらと思います。

